

第55回 行政課題研修〔風水害を想定した災害対応コース〕

近年、東北地方でも風水害の被害を受けることが増加しています。自治体には、被害を最小限に止める防災・減災に務め、災害発生時の対応、事後の復旧・復興を想定しておくことが求められています。

この研修は、危機管理部門の職員に限らず災害に対応する全ての職員が、いざという時に適切な対応が取れるよう、専門家の講義と被災を経験した自治体職員による経験談から、東北地方の広域的視野を含め、風水害に対する対処能力の向上を図ります。

実施日

令和4年
1月19日(水)~21日(金)

対象

- 災害対応に関わる職員及び興味のある職員
- 受講を希望する職員

人数

30人程度

申込

別紙受講申込書を送信ください。
申込期限：12月17日(金)

◆ ワークショップ ◆
令和元年台風19号時の体験談を
時系列で聞く災害対応の疑似体験

講師

■東北大学災害科学国際研究所

研究所長・教授 いま むら ふうみ ひこ 今村文彦氏
津波工学, 自然災害科学

副研究所長・教授 まる や ひろ あき 丸谷浩明氏
事業継続マネジメント (BCM), 企業防災, 防災計画,
防災法制, 防災ボランティア

准教授 さ とう しょう すけ 佐藤翔輔氏
災害伝承学, 災害情報学, 災害文化, 情報処理過程, 避難行動

助教 はし もと まさ かず 橋本雅和氏
防災水工学, 洪水氾濫解析

■環境省 東北地方環境事務所資源循環課

課長 くさ かり こう いち 草刈耕一氏

日程表

月日	時刻	内 容	
1月19日(水)	13:00-13:25	開講式・オリエンテーション	
	13:30-15:00	1 基調講義「東日本大震災10年を経て今後の防災のあり方 —最近の自然災害の動向」	今村教授
	15:10-17:00	2 風水害等に対応する基本的防災制度及び平常時の備え	丸谷教授
		宿泊オリエンテーション	
20日(木)	9:00-12:00	3 災害時の地方自治体と国, 他自治体, 民間との連携	丸谷教授
		昼休み	
21日(金)	13:00-16:00	4 ワークショップ:被災自治体(県)の経験を聞く・学ぶ ・令和元年台風19号時の宮城県災害対策本部及び地方機関での体験談, グループワーク, 質疑	佐藤准教授
	9:00-10:20	5 近年の風水害とその気象条件	橋本助教
	10:40-12:00	6 災害廃棄物について	東北地方環境事務所 草刈課長
		昼休み	
	13:00-15:30	7 ワークショップ:被災自治体(市・町)の経験を聞く・学ぶ ・令和元年台風19号時の大郷町災害対策本部及び大崎市鹿島台 総合支所での体験談, グループワーク, 質疑	佐藤准教授
	15:30-16:00	8 総括	佐藤准教授
		閉講式	

講義・演習

◆ ワークショップ ◆

「令和元年台風19号」での自治体職員の体験談から学ぶ

台風19号当時約1か月間の自治体職員の体験を時系列に聞き、災害を疑似体験することで、自分自身
が取るべき行動を再確認し、危機に備えます。

〔災害対応体験談 スピーカー〕

〔 〕内は「令和元年台風19号」当時の所属・職名

◇ 宮城県環境生活部放射性物質汚染廃棄物対策室 室長

〔宮城県総務部危機対策課 課長補佐（総括担当）〕

伊藤 哲也 氏

・県の災害対策本部での体験：情報収集，市町村支援，応援職員対応 等

◇ 宮城県土木部事業管理課 技術副参事兼総括課長補佐

〔宮城県大河原土木事務所 技術副参事兼次長（総括担当）〕

板橋 治 氏

・県の土木部門 地方事務所での体験：道路の通行止め，応急工事 等

◇ 宮城黒川地方町村会 事務局長

〔大郷町総務課（災害対応所管課） 課長〕

浅野 辰夫 氏

・町の災害対策本部での体験：災害警戒本部，災害対策本部，避難勧告・避難指示発令

◇ 大崎市総務部防災安全課 課長

〔大崎市鹿島台総合支所 地域振興課 課長〕

齋藤 健治 氏

・市の出先機関での体験：消防団との連携，災害廃棄物，ボランティア対応 等

〔研修の理解・習得のねらい〕

- 風水害に関する自治体対応の基本
- 被災した自治体職員の経験談を基に，所属自治体の実践的な対応の想定
- 受講者間のネットワーク構築

〔研修会場・連絡先等〕

1 研修会場

公益財団法人 東北自治研修所（東北自治総合研修センター内）

〒981-3341 宮城県富谷市成田二丁目22-1

TEL：022-351-5771 FAX：022-351-5773

（アクセスは、東北自治総合研修センターHPを参照してください。）

2 経 費

■ 研修受講料は、**無料**です。（東北6県からの負担金を充てています。）

■ **青葉寮（宿泊施設）利用負担金**

1泊当たり 4,530円（夕食、朝食を含む。）（税込） （※R3.4.1変更）

- ・研修終了後に発行する請求書により、貴機関から指定の口座へ振り込み願います。
- ・夕・朝食代の現金別払いを希望する場合は、受講決定後提出の「受講前の報告書」に記載ください。
- ・前・後泊する場合は、3,300円／泊（夕食・朝食無し）を追加し、外泊する場合であっても、負担金は減額いたしません。
- ・前泊して夕・朝食を希望する場合は、「受講前の報告書」で申し込み、現金で支払ってください。
- ・新型コロナウイルス感染症が収束しないことから、宿泊者の研修施設外での飲食による感染リスクの低減等のため、令和3年4月1日から、原則全ての宿泊者（1週間を超える長期研修を除く。）に対し、食堂において夕・朝食を提供することとしました。

■ **テキスト負担金**

- ・テキスト代（実費）を負担いただく研修もあります。各研修の案内を御覧ください。

3 宿泊・食事・受付

■ 受講者は**全員**、東北自治総合研修センター内の寄宿舍「青葉寮」に**宿泊**していただきます。

■ 食事は、センター内食堂を御利用願います。夕・朝食代は宿泊負担金に含まれます。昼食は、別途、券売機で食券を購入してください。

■ 開講式の30分前までに、受付で手続きしてください。（時間厳守）

詳細は、受講決定時にお知らせします。

4 新型コロナウイルス対策

国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」及び宮城県の対処方針に対応した感染防止対策を行います。詳細は、受講決定時にお知らせします。

5 施設の概要

快適な研修生活をお送りいただくために、宿泊室は全室個室となっているほか、以下の施設を備えています。

- 研修棟：講堂1室、教室7室、演習室20室、図書室〔蔵書約8,000冊、パソコン（インターネット接続可）、DVD〕、ラウンジ8室等
- 宿泊棟：宿泊室250室（うち身障者用3室）、娯楽室、談話室、大・中浴場（シャワールームあり）、インターネット接続可、食堂、売店
- 屋内外施設：体育館（バレーボール・卓球等）、テニスコート、駐車場（270台）

※詳細は、東北自治総合研修センターのホームページをご覧ください。

6 連絡先

公益財団法人 東北自治研修所

〔東北6県の自治体職員の資質・能力の向上を図るため、6県の出資により設立された法人です。〕

URL：http://www.thk-jc.or.jp

TEL：022-351-5771

FAX：022-351-5773

担当：阿部幸信、佐藤祐美子

e-mail：kensyu@thk-jc.or.jp